

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1264号	氏名	黨 和夫
論文審査担当者		主査教授	永安 武
		副査教授	相川 忠臣
		副査教授	近藤 宇史
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、カロリー制限（calorie restriction、以下 CR）における代謝系の変化に AMP-activated protein kinase（以下 AMPK）が重要な役割を担っているという仮説を検証したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ラットを自由摂食群と CR 群に分け、各群の肝臓、骨格筋における代謝関連遺伝子の発現や AMPK 及び Acetyl-CoA carboxylase の蛋白及びリン酸化レベルを測定した。さらに両群における短期的な絶食の効果も同様に解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、CR の長期的な効果として、肝臓において AMPK のリン酸化が抑制された。このことより、AMPK 活性の抑制が食物利用の変動に対する代謝的適応にとって有利であると推察された。</p> <p>以上のように本論文は CR の抗老化効果における AMPK の役割の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			